

2016年2月12日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年6号)

リオ市ボタフォゴ地区で銃撃戦が発生

2月12日午前中、リオ市ボタフォゴ地区の路上で銃撃戦が発生し、3人が負傷する事件が発生しています。

1 発生日時

2月12日午前9時30分頃

2 発生場所

リオ市ボタフォゴ地区

ムニス・バレット(Muniz Barreto)通りとマルケス・デ・オリンダ(Marques de Olinda)通りの交差点(邦人企業が複数入居しているアルゼンチンビル、多くの邦人が買い物に利用するボタフォゴ・ショッピングの直近)

3 発生状況

(1) 上記日時において、ピニエロ・マシャード通りを通行中の盗難車両(被疑者2名が乗車)を警察が追尾し、上記発生場所において銃撃戦に発展した。犯人2名が撃たれ怪我をしたほか、流れ弾により男性(63歳)1名が怪我をした。

(2) 3名ともガビア地区の病院に搬送されたが、12日17時現在、容態等は不明。

(3) 銃撃戦の影響で周辺の道路が封鎖され、ボタフォゴ地区、ラランジェイラス地区、セントロ地区で大きな渋滞が発生した。

(4) なお、上記盗難車両は先週フラメンゴ地区で盗難被害を受けたもの。

4 留意事項

(1) 常に周囲に気を配り、危険を感じたら安全を確保する退避行動を取りましょう。

(2) 銃声を聞いた場合は可能な限り低い姿勢を取り、不用意に動かないようにしましょう。

(3) 万が一強盗に遭ってしまった場合は、決して抵抗せず、素直に相手の要求に応じて下さい。